
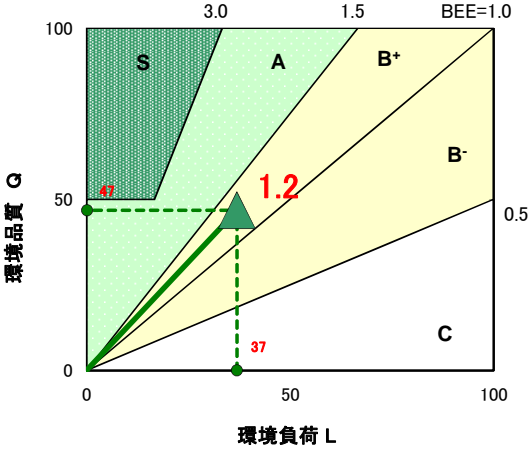



CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)テラデザイン熊本事業所	階数	地上1階		
建設地	熊本県菊池郡大津町大字高尾野字	構造	S造		
用途地域	工業地域、都市計画区域内、熊本中	平均居住人員	200 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	6,000 時間/年		
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2017年4月28日		
敷地面積	22,982 m ²	作成者			
建築面積	5,661 m ²	確認日			
延床面積	5,597 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
		BEE = 1.2																																	
		BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$																																	
		■環境効率評価基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ランク</th> <th rowspan="2">ランク表示</th> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">判定値</th> </tr> <tr> <th>BEE値</th> <th>Q値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>★★★★★</td> <td>素晴らしい</td> <td>3.0以上</td> <td>50以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>★★★★</td> <td>大変良い</td> <td>1.5以上3.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B+</td> <td>★★★</td> <td>良い</td> <td>1.0以上1.5未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B-</td> <td>★★</td> <td>やや劣る</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★</td> <td>劣る</td> <td>0.5未満</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	
ランク	ランク表示	評価				判定値																													
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)		排出率																																	
		87%																																	
		■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(排出率)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30%以下</td> <td>☆☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>30%超60%以下</td> <td>☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>60%超80%以下</td> <td>☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>80%超100%以下</td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>100%超</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table>	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																					
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点													
		82													
		■熊本県重点評価基準													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満		
判定値(評価点)	ランク表示														
100点以上															
80点以上100点未満															
60点以上80点未満															
40点以上60点未満															
40点未満															
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	87.5														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	66.2														
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	78.5														
【重点事項4】 循環型社会の実現	90.0														
※評価点は、100点以上が推奨です。															

CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)テラライン熊本事業所	階数	地上1階
建設地	熊本県菊池郡大津町大字高尾野字	構造	S造
用途地域	工業地域、都市計画区域内、熊本中	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,000 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2017年4月28日
敷地面積	22,982 m ²	作成者	
建築面積	5,661 m ²	確認日	
延床面積	5,597 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 82**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 87.5**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 66.2**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 78.5**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 90.0**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物内部は利用者の健康・快適さ、外部は環境配慮を重視した設計になっている。

Q1 室内環境

高い外皮性能、自然換気性能を有し、利用者の健康・快適さに配慮した計画を行っている。

Q2 サービス性能

天井高2.7m以上により、開放感および空間にゆとりのある計画となっている。耐用年数の長い部材を採用している。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている。

LR1 エネルギー

LED照明器具採用による消費電力の低減に努めている。

LR2 資源・マテリアル

省水型機器の採用により資源の浪費を抑えている。

LR3 敷地外環境

風通しに配慮し、敷地外への熱的な影響を低減している。光害の抑制に努めている。

その他

特になし。

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.34					3.3
1 音環境		3.6	0.15					3.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		4.2	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	3.0				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0				
1.3 吸音	壁、天井に吸音材を使用	4.0	0.20	3.0				
2 温熱環境		2.6	0.35					2.6
2.1 室温制御		3.5	0.50					
1 室温		3.0	0.38	3.0				
2 外皮性能	外壁U=0.570、屋根U=0.380、窓U=3.560、SC=0.38	5.0	0.25	3.0				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0				
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0				
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60	3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0				
3.2 グレア対策		4.0	0.30					
1 昼光制御	ブラインド、庇によりグレアを制御	4.0	1.00	3.0				
3.3 照度	事務所内500Lx以上	4.0	0.15	3.0				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0				
4 空気環境		4.3	0.25					4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	3.0				
2 アスベスト対策								
4.2 換気		3.3	0.30					
1 換気量		3.0	0.33	3.0				
2 自然換気性能	事務室面積の1/30以上の自然換気有効開口面積を確保	4.0	0.33	3.0				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0				
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	喫煙所あり	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.3
1 機能性		3.0	0.40					3.0
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0				
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上	4.0	0.33	3.0				
2 リフレッシュスペース	カフェテリアあり	5.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板	4.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット(20年)、壁:GB(30年)、天井:GB(30年)	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VP(B)、給湯:SUS(C)、雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.06	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重4500N/m ² 以上	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.66	4.0	0.08	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.80 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.57	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.80	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.23	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材、OA707あり	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材等の使用なし	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		目的に応じた適切な照度レベルが設定されている等	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		高遮熱Low-Eを採用	4.0	0.30	-	-	

建物名称 (仮称)テラデザイン熊本事業所

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		82
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				87.5	0.40	35.00
Q1-2.1.2	外皮性能	5.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.08			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.08			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.06			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				66.2	0.20	13.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				78.5	0.20	15.70
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	4.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				90	0.20	18.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.8	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数